

ちょっと気になるデータ

# 非正規の職員・従業員の動向

## —労働力調査詳細集計結果から—

2020年8月11日に総務省統計局から「労働力調査(詳細集計)」の2020年4～6月期平均の結果が公表された。

役員を除く雇用者5579万人のうち、正規の職員・従業員は3543万人で前年同期と比べて30万人増加した一方、非正規の職員・従業員は2036万人で88万人減少している。非正規の職員・従業員は前期2020年1～3月期(対前年同期増減

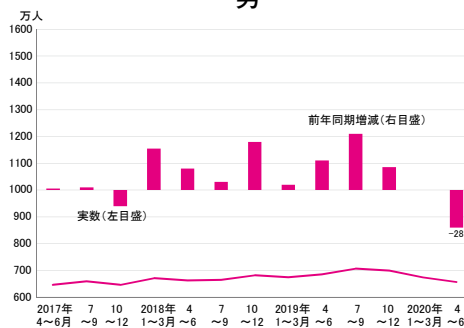
9万人減少)に引き続き2期連続の減少となっている。

非正規の職員・従業員についてももう少し詳しくみてみる。男女別では、男性が656万人で前年同期

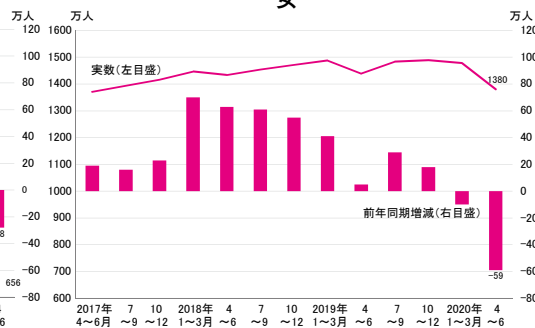
と比べて28万人減少、女性が1380万人で59万人減少となっている。さらに内訳をみると、男性では「パート・

アルバイト」333万人(対前年同期14万人減)、「契約社員」147万人(同9万人減)、「嘱託」75万人(同5万人減)、「労働者派遣事業所の派遣社員」56万人(前年同期と同水準)などとなっている。女性では「パート・アルバイト」1075万人(同65万人減)、「契約社員」137万人(同4万人増)、「労働者派遣事業所の派遣社員」82万人(同1万人増)、「嘱託」44万人(同2万人減)などとなっている。

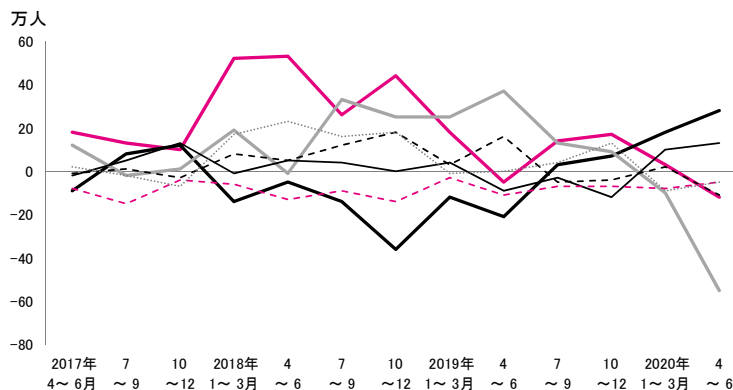
非正規の職員・従業員 男



非正規の職員・従業員 女



非正規の職員・従業員について主な理由 女性 前年同期増減



- 自分の都合のよい時間に働きたいから
- 家計の補助・学費等を得たいから
- 家事・育児・介護等と両立しやすいから
- - - 通勤時間が短いから
- 専門的な技能等をいかせるから
- - - 正規の職員・従業員の仕事がないから
- ..... その他

次に、非正規の職員・従業員について現職の雇用形態

についての主な理由別にみると、男性では「自分の都合のよい時間に働きたいから」が177万人と最も多く、次いで「その他」140万人、「正規の職員・従業員の仕事がないから」107万人などとなっている。女性では「自分の都合のよい時間に働きたいから」が405万人と最も多く、次いで「家計の補助・学費等を得たいから」322万人、「家事・育児・介護等と両立しやすいから」210万人などとなっている。

さらに、女性の非正規の職員・従業員の現職の雇用形態についての、前年同期と比較すると、「家事・育児・介護等と両立しやすいから」は55万人減、「自分の都合のよい時間に働きたいから」は12万人減と減少しているのに対し、「家計の補助・学費等を得たいから」は28万人増と増加している。

(調査部 統計解析担当)